

# 日本共産党議員団、区民要望実現に奮闘!

建設業界で人手不足が深刻化し、自治体が発注する工事でも業者が集まらず、契約不調の案件が相次いでいます。その原因は建設労働者の賃金の低さにあります。建設設計労務単価の引き上げが下請労働者に支払われているか確認を求めようという質問でしたが、「必要はない」との答弁です。

さらに、公共事業の品質を確保し、公共事業に従事する労働者の生活できる賃金が確保されるよう、公契約条例を制定するよう求めましたが「情報を収集し、研究していく」と従来と全く変わらない答弁でした。

## 早期に公契約条例の制定を

改築中の芝公園保育園が完成し、3月17日より新しい園舎で保育が開始されま



## 芝公園保育園が新しくなりました

### 定員が47名拡大

した。待機児童に対応するために47名の定員が拡大されました。

4月入園希望者は2,023名で2次の内定でも862名(3/14日現在)が保育園に入れませんでした。

区議団は毎議会、待機児童解消対策を提案。区も区立保育園改築時の定員拡大や私立認可保育園の誘致な

どで定員拡大(1,371名)を図ってきましたが、待機児童はゼロになりませんでした。新しく誘致された私立認可保育園はピルの2階部分を利用した保育園が多く、園庭がないなどの問題もあります。

公有地等を活用し、園庭が整備された認可保育園の増設が必要です。

## 予算修正案を提出

### 区民応援の予算に変える

#### 〈主な修正内容〉

- ◆ 国民健康保険料の均等割を1万円引き下げる
  - ◆ 保育料を無料化・軽減する
  - ◆ 小学校2万円、中学校3万円の入学祝い金を支給する
  - ◆ 小中学校の給食費を無料にする
  - ◆ 精神障害者にも心身障害者手当てを支給する
  - ◆ すべての介護サービス利用料を3%に軽減する
  - ◆ 介護保険料の基準額を1000円引き下げる
- などです。

予算修正案に対して、5人の委員から質問があり、党委員が答弁しました。共産党を除く会派の反対で否決されました。

2014年度(平成26年度)の区長提案の予算に対して、修正案を提出しました。9年連続での提出です。



オール与党が否決

### 〈代表・一般質問の主なもの〉

「ブラック企業」根絶への区の取り組みについて／寡婦(夫)控除のみなし適用について／国有地・公有地の活用について／新国立競技場建設の見直しについて／社会貢献型後見人(市民後見人)について／中学生以下のインフルエンザ予防接種費用の助成について／自転車レーンの設置について「ゆりかもめ」の運賃を台場地域の住民に減額することについて／民生・児童委員の確保と活動費の引き上げについて／障害者サービスの見直しについて／給付型奨学金についてなど

## 13年連続で国民健康保険料の値上げ 昨年比平均6,577円も

14年度の保険料は、医療分・高齢者支援金分・介護保険料を合わせて港区民の一人あたりの平均保険料は157,169円(年額)となりました。昨年度と比べると6,577円(4.37%)の増額です。家族3人世帯で年収200万円の世帯は昨年比で15.64%と最大の値上げになりました。

す。保険料の滞納世帯は30.35%です。

13年連続の値上げで、払えない方はますます払えなくなります。

4月からの消費税増税で区民の暮らしや商店の営業はますます大変になります。日本共産党は反対。他のオール与党が賛成し可決しました。

## 西麻布児童館を廃止 共産党除く全会派賛成



「麻布子ども中高生プラザ」の開設を口実に、区は西麻布児童館の廃止を提案。日本共産党以外の賛成多数で廃止が決まりました。

保護者説明会等でも児童館の継続を求める声や児童の居場所を確保してほしいとの要望が出されています。そうした声を受けて、新しい西麻布保育園の建物内に「仮称」子どもふれあいルームが開設されますが、

事業内容や職員配置などの明確な基準等も示されませんでした。保育園の待機児童の深刻な状況から判断すれば、学童クラブの需要が増えることは当然です。

一方で、2014年度の学童クラブの入会申し込み状況は7施設で定員を超えました。定員を大幅に超えた麻布地域や芝浦地域では緊急対策がとられました。

## 原発事故の費用を 全額東電に求めよ

港区が福島原発事故による放射能対策に使った税金は2011年度、12年度2年間で4,49万3,007円です。(基本的には人件費は含まれない。)ところが東電への請求は、2年分で合計2,261万4,992円と、かかった費用の50%にすぎません。13年度以降は請求する考えがありません。これでは福島県民をはじめ放射能の影響による賠償請求をしている人たちに多大な影響を与えます。

福島原発の爆発事故に伴う「対策費用のすべてを東京電力に請求する」よう質問しました。

区長は「区独自で賠償請求は考えていない」としながら、「国や都及び他団体の動向、また全体的な状況等を勘案し対応する」と答えました。



## 消防団員の処遇改善を



消防団員のみなさんは、生業を持ちながら、地域住民の安全・安心のため、日々訓練し活動されています。

しかし、任務と活動の内容から見て、支給される報酬や出勤手当が低すぎるので、引き上げるよう東京都に働きかけを求めました。

区長は、東京都に報償等の引き上げを働きかけることは考えていないが、引きつづき、消防団の意見や要望に配慮していくと答えました。

## 石巻市へ 第17次震災ボランティア



三月十三日、十六日に支援活動17次までで、136名が石巻市を中心にボランティアに参加しました。支援物資の提供は427人の方から寄せられ、募金は467万円になりました。

困ったときはすぐ相談を。4名の区議がご相談に応じます(無料)開いています



大滝 実

区民文教常任委員/行財政等対策委員/防災・エレベーター等対策副委員長/副幹事長



沖島 えみ子

総務常任委員/交通・環境等対策委員長



風見 利男

建設常任委員/まちづくり・子育て等対策副委員長/議会運営委員/幹事長



熊田 ちづ子

保健福祉常任委員長/まちづくり・子育て等対策委員/防災・エレベーター等対策委員/議員団長



# 区民のいのちとくらし、守る



## 就学援助

### 生保基準引き下げ前の水準を維持 党区議団の再々の質問が実る

総括質問で教育長が答弁

就学援助は経済的理由で学業に影響が出ないよう援助する制度です。生活保護基準が引き下げられたことで影響を受ける児童・生徒は52人になることが予算審議で明らかになりました。

党区議団は生活保護基準引き下げ前の水準を守るよう求めました。昨年9月に文科省から影響が出ないよう通知が来てい

たにもかかわらず、区は当初、対応を明らかにしていませんでしたが、3月14日の予算総括質問で教育長は初めて引き下げ前の水準を守ると答弁しました。

全国での「基準引き下げ前の水準を守れ」の運動が実を結びました。



## 特別養護老人ホーム

### 18床の増床が実現

### 開設は来年4月



特養ホームの2月現在の待機者は260名です。党区議団はこれまでも待機者をなくすために新たな特養ホームの建設を求めてきました。今回、ありすの社での18床増床は一步前進ですが、希望者を受け入れるにはまだまだ足りません。

引き続き新設を求めています。国が特養ホームの入所者を原則要介護Ⅲ以上とする改悪をねらっています。改悪を許さない運動をみなさんと一緒に取り組んで参ります。

## 新橋、港南地域で自転車シェアリング

自転車シェアリングの導入に向け、党議員は、これまでも、たびたび質問してきましたが、新年度から2カ所での実施が決まりました。

港南地域では60台で、8月頃から試行を開始します。新橋・虎ノ門地域では、150台で10月頃から事業を開始します。

予算特別委員会では、港南地域での取り組みを、さらに需要が期待できる芝浦・海岸地域に拡大していくための課題と解決策について質問しました。区は、「課題解決に努める中で事業区域の拡大を図っていく」と答えました。

## 廃食油の拠点回収を実施

党区議団は、廃食油の再利用を図るため、拠点回収の実施を繰り返し求めてきました。こうした中、新年度から、港南の「みなとリサイクル清掃事務所」と、元麻布の「みなと清掃事務所作業連絡所」の2カ所での拠点回収が実施されることになりました。これまで拠点回収している

小型家電、ベッポトル、蛍光灯等に加えて回収することになります。予算特別委員会では、さらに拡大を求めました。



## シルバー人材センターの仕事確保を

シルバー人材センターは1550名の会員。現在約70%の会員が就労していますが、不況の影響もあり、民間企業からの仕事増は見込めません。「みなとパーク芝浦」はじめ、多くの

区有施設がオープンします。これらの施設の管理業務を含め、シルバーの仕事確保を全庁あげて取り組むよう質問。区長は、「可能な限りシルバー人材センターの活用を努める」と答えました。

## 福祉車両の導入を提案

体が不自由になっても、高齢者や障害者が社会とのかかわりを持ち続けることは重要です。そのため福祉キャブの増車と福祉車両の導入を求めました。

社会福祉協議会と協力し、23区では現在、中央区、文京区など12区が、燃料費実費で福祉車両を貸し出す制度をおこなっています。また台東区は、運転手がいない方には、運転ボランティアの紹介も行っていきます。

私たちは社会福祉協議会とも協力し、福祉車両の貸し出しをおこなうべきと質問しましたが、緊急移送サービスなど充実が図られていることなどを理由に、「研究していく」との答弁です。これでは福祉キャブが足りないとの区民の要望にこたえていません

## プレミアム商品券の発行量拡大を

プレミアム商品券は、発売と同時に完売するほど人気があります。買いたくても変えない人がでないよう、「発行量を増やす」よう質問しました。

区は「今後の増額発行については、商店街連合会と協議を重ね、景気動向等を分析しながら検討する」と答えました。

## 介護保険の改悪許すな

今回の改悪は制度発足以来の大改悪で、利用者や事業者に大きな影響を与え、介護難民を増やすこととなります。党委員は予算委員会で質問。

しかし、区長は「国に見直しを止めるよう求めることは考えていない」と答弁。



### 主な改悪案の内容

- ① 要支援者を介護サービスからはずし、市町村の事業にする
- ② 特別養護老人ホームの入所者を原則、要介護Ⅲ以上とする
- ③ 年金収入280万円以上の自己負担を1割から2割への引き上げ
- ④ 施設入所者の居住費や食費補助（補足給付）の縮小

## みなとパーク芝浦に

## 「ちいばす」延伸を

12月には、スポーツセンター等を含め港区最大の複合施設「みなとパーク芝浦」や「愛育病院」が開設し、今まで以上に人が集まります。ところが「ちいばす」が行かないため、田町駅から歩くことになり。田町ルート、芝ルートについては田町駅に入る前に「みなとパーク芝浦」まで延伸し、

利便性を向上させるよう提案しました。区長は「利用者の声やルート延伸に伴う運行経費への影響等を踏まえ、検討していく」と答弁しました。



## 全 学校プールに 温水シャワーを



プール始めや終わりの時期はかなり寒いことがあります。この時のプール授業は児童・生徒にとって苦痛です。温水シャワーが設置されているのは、18小学校中9校(50%)、9中学校中6校(66%)までになっています。一日も早く子どもたちの「苦痛」をなくす努力を求めました。

教育委員会は「プールの改修時検討する」と従来の答弁の繰り返しです。

## ウォータークーラーが 設置されました

未設置の3小学校、2中学校



昨年の決算審議の時、ウォータークーラー未設置の3小学校、2中学校の早期設置を質問しましたが、設置されていないことから、予算委員会で「年度内に設置するのか」質問しました。区は「年度末の設置に努力する」と答弁。担当部署の努力で3月中に残りの5校に設置されました。

## 教職員の過重労働をなくすために

党区議団の質問に対して、教育長が「教員によっては朝早く出勤し、夜遅くまで、あるいは休日の仕事を持ち帰って勤務している」と答弁し、勤務実態や病気休職者が増えていることが明らかになりました。

今年度の休職者は6か月以下5名、うち管理職1名、6か月を超える者が6名、うち管理職1名で、休職者は2年前と比べ2倍となっています。

校長会からは「副校長等の実質的な時間軽減を図ることによって多忙感を解消し、教職員・生徒・保護者と向き合う時間を確保する。そのため、学校派遣サポート職員（仮称）を」との要望が出されています。それに応えることが必要と質問しました。しかし、教育委員会は、切実な校長会の要望に応えようという態度でした。